

子どものこころ診療部

診療部の特徴

子どものこころ診療部は、国立大学病院として初めて設置された児童精神医学専門の診療部門です。現在、当診療部に倣って複数の大学病院に同様の診療部が設置されています。信州大学はこの分野のパイオニア的存在であり、臨床・研究・教育において、様々な展開を図っています。現在、児童精神科医は県内外ともに不足しており、専門性を得ることで将来、存分に活躍することが可能です。



診療体制

スタッフは児童精神科医、小児科医、公認心理士、作業療法士、看護師などで構成されています。

外来診療: 予約制で丁寧な面接による診断と治療を心がけています。

入院診療: 平成17年4月より、4床の入院ベッドが稼働しています。アメニティーを最大限に考慮して取り組んでいます。



子どものこころの診療

子どもたちのこころの問題は、時代を反映してとても複雑になってきています。多動、注意散漫、ひきこもり、拒絶、不安、拒食などを呈する子、周囲と十分にコミュニケーションの取れない子、家庭環境や学校でのいじめ被害などによってトラウマを受けた子など、多くの課題が指摘されています。診療部は、ご家族や学校をはじめとする地域の関係機関と緊密な連携をとりながら、総合的な診療を展開したいと考えています。

当診療部の研修

可能な限り本人の意思に沿う形での研修、人事を行っています。妊娠・出産、育児などの諸事情にも配慮してプログラムを組んでいます。また、他の大学病院、研修病院での研修終了後に当診療部に在籍を希望する医師も多く、積極的に受け入れています。小児科専門医取得後のサブスペシャリティ研修としての専門研修も可能です。

専門研修の魅力

わが国では児童青年精神科医の数が不足しており、その数を増やす対策が急務であると言われています。現在、各医学領域で専門医制度の整備が進められています。児童青年精神医学の領域では、子どものこころ専門医機構による専門医制度がスタートしており、当診療部も、子どものこころ専門医取得のための研修施設に指定されています。

また、信州大学では、子どものこころの発達医学教室が長野県から「長野県発達障がい診療人材育成事業」を受託して、発達障害の診療を志す精神科医・小児科医等に研修の場を提供しています。子どものこころ診療部は、子どものこころの発達医学教室と連携して発達障害に関する専門的な研修を提供しています。

当診療部における専門研修の魅力は、精神科における精神科全般の研修も行いながら児童精神科領域の専門的な研修が行えるプログラムになっていることです。当院精神科および県内の協力病院と連携して、精神保健福祉法に基づく精神保健指定医、日本精神神経学会専門医の資格取得のための指導にあたります。



グループミーティング



病棟での集団精神療法

専門研修終了後は、原則として本人の希望が尊重されます。主には、診療部での臨床・研究・後進の指導、大学院進学、県内協力病院勤務、児童福祉関係の行政機関や施設勤務などの選択肢があります。また、全国的に児童精神科医は不足しているため、専門研修後に他県への異動を考えている場合についても十分に配慮します。希望される方は国内外の留学も可能です。

大学における専門研修

精神科全般の研修を行いながら児童精神科領域の専門的な研修を行うことで、幅広く総合的な研修ができることを目指しています。

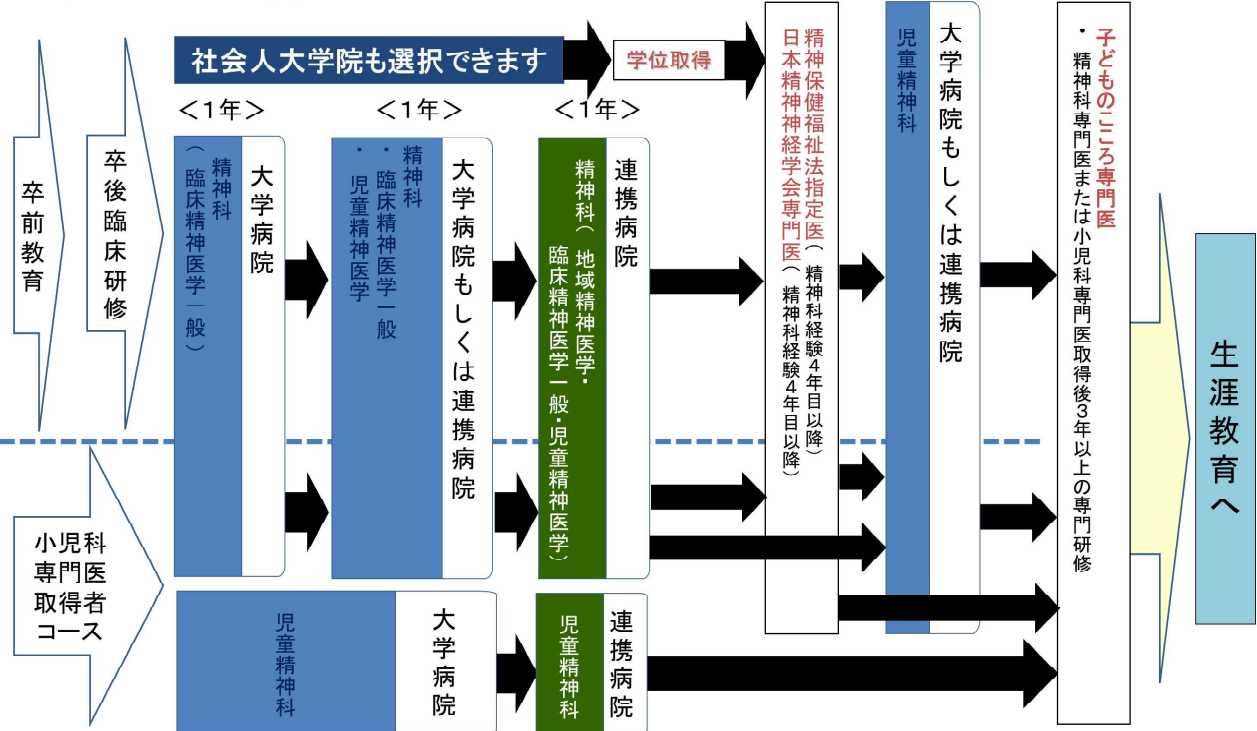
子どものこころ診療部 専門研修スケジュール例

	月	火	水	木	金
8:15	病棟申し送り		病棟申し送り	関連病院への外勤	病棟申し送り
9:00			ミーティング		
10:00	外来研修（予診）	病棟カンファレンス	外来研修（予診） または 病棟研修		病棟研修
11:00					
12:00					
13:00	病棟研修		病棟集団療法		外来集団プログラム
14:00		回診	病棟研修		
15:00		子どものこころ カンファレンス			
16:00					
		精神科抄読会			
17:00	病棟申し送り	精神科研究会	病棟申し送り	病棟申し送り	
18:00		2,4週目：小児科との 摂食障害カンファ			
19:00	1,2,4週目：抄読会 3週目：小児科との 合同カンファ				

サブスペシャリティ・学位取得の道筋

精神保健指定医：初期研修2年の後、精神科専門研修3年を修了後。
日本精神神経学会認定精神科専門医：初期研修2年の後、精神科専門研修3年を修了後。
子どものこころ専門医：精神科専門医または小児科専門医取得の後、子どものこころ専門研修3年を修了後。

〈下図は一例です〉



研修カリキュラム

プログラムコース（案）	1年目	2年目	3年目
基本コース （大学、関連病院）	大学	関連病院 （長野赤十字、北信総合、諏訪赤十字、飯田病院、あづみ病院、篠ノ井橋、栗田、鶴賀、千曲荘、小諸高原、倉田、村井、松南、小倉、メンタルサポートそよかぜ、駒ヶ根など）	
大学重点コース （大学院）	大学	大学	中信地区の精神科単科病院
子ども中心コース	大学（精神科）	大学（子ども）	駒ヶ根、松南など
連携大学院コース	大学	駒ヶ根	駒ヶ根

大学院での研究テーマ、臨床研究のテーマなど

最近実施している主な研究です。

➤発達障害への地域支援に資する継続的な情報収集・活用方法・体制整備に向けた研究

厚生労働科学研究として行われている研究で、本田部長が研究代表者を務めています。

➤母子保健情報を活用した子どもの精神健康問題の早期発見と早期支援

長野県の自治体を対象に実施している悉皆的コホート研究です。

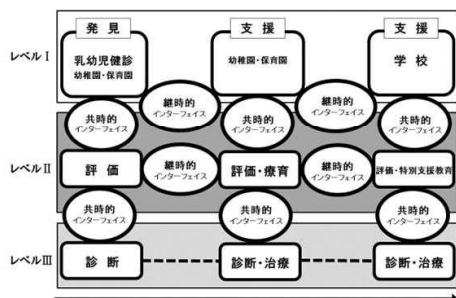
乳幼児健診データを用いた疫学的調査により、母子保健における支援ニーズを把握することを目指しています。

➤マイクラフト®を用いた集団作業療法における治療の有効性に関する研究

ゲームを用いた治療法の開発の一つとして、マイクラフト®を用いた集団作業療法を実施しています。

➤摂食障害の研究

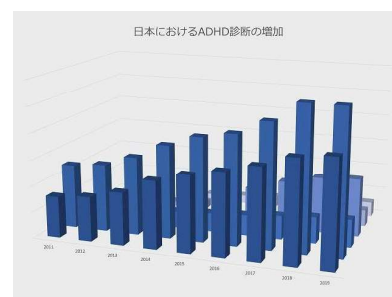
摂食障害の患者さんの性格や発達の特性の調査、新しい治療法の開発などを行っています。



厚生労働科学研究班にて作成した
発達障害の地域支援モデル



研究成果の学会発表



発達障害の疫学調査

国内留学・海外留学

国内留学、海外留学とも希望があれば可能です。

精神保健指定医、日本精神神経学会専門医を取得した後の卒後5年目以降の留学を推奨しています。希望内容に応じて受け入れを依頼することができます。
2021—2022年は診療部から1名、ロンドンのモーズレイ病院に留学しました。
1-2ヶ月程度の短期の留学・研修も可能です。



モーズレイ病院

将来の就職先など

主には、診療部での臨床・研究・後身の指導、大学院進学、県内協力病院勤務、精神保健福祉・児童福祉関係の行政機関や施設勤務などの選択肢があります。

県内の関連・連携・協力病院

県内には、国公立、民間の総合病院や精神病院など多数の関連病院があり、相互に交流を持っています。主な病院としては、長野赤十字病院、諏訪赤十字病院、北アルプス医療センターあづみ病院、南長野医療センター篠ノ井総合病院、北信総合病院、松代総合病院、長野県立木曽病院、県立こころの医療センター駒ヶ根、小諸高原病院、その他多くの民間病院があります。また医師派遣を要請している病院が多数あります。とくに、県立こころの医療センター駒ヶ根は、児童思春期病棟を有する精神科病院であり、児童精神科に特化した業務も可能です。また、長野県立こども病院の児童精神科外来診療も、当診療部の医師が行っています。

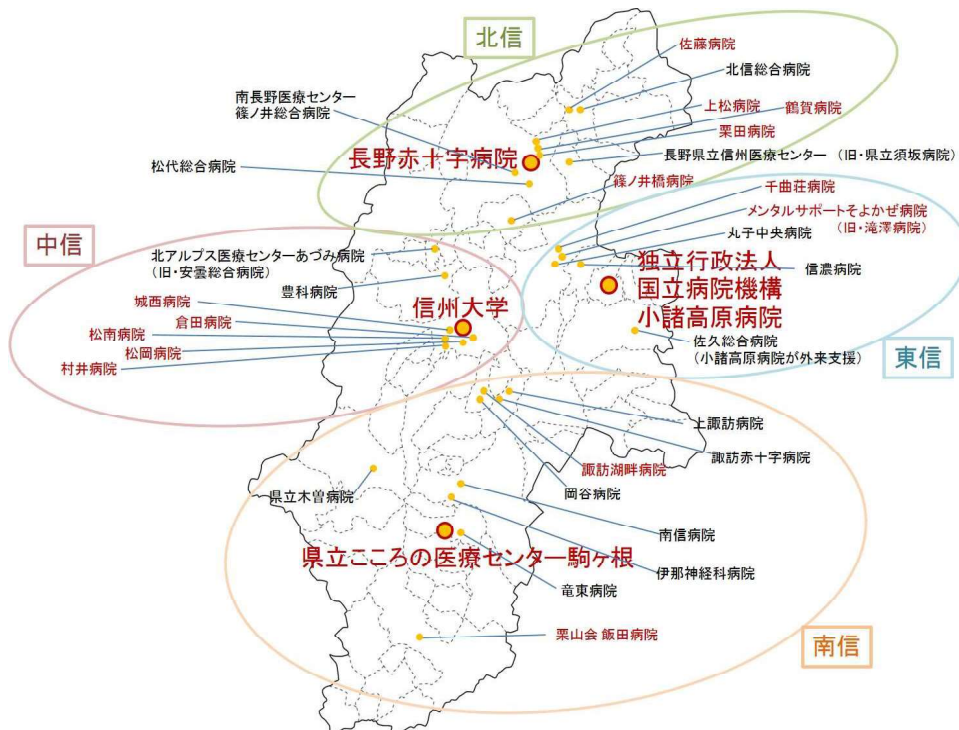
他県の関連・連携・協力病院

児童精神科医は全国的に不足しています。専門研修後に他県への異動を考えている場合についても相談に応じます。

その他

子どもだけを診ていく職場として、精神保健福祉センター、児童相談所や情緒障害児短期治療施設、裁判所などの施設の常勤嘱託医となることも可能です。また、結婚や育児等、個々の事情に応じた働き方も可能です。

長野県内精神科関連病院



連絡先

信州大学医学部附属病院 子どものこころ診療部

■住所: 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 ■電話: 0263-37-3060 ■FAX: 0263-37-3060

■E-mail: kodomo@shinshu-u.ac.jp

■URL: <http://www.shinshu-u.ac.jp/hp/bumon/kokoro/index.html>